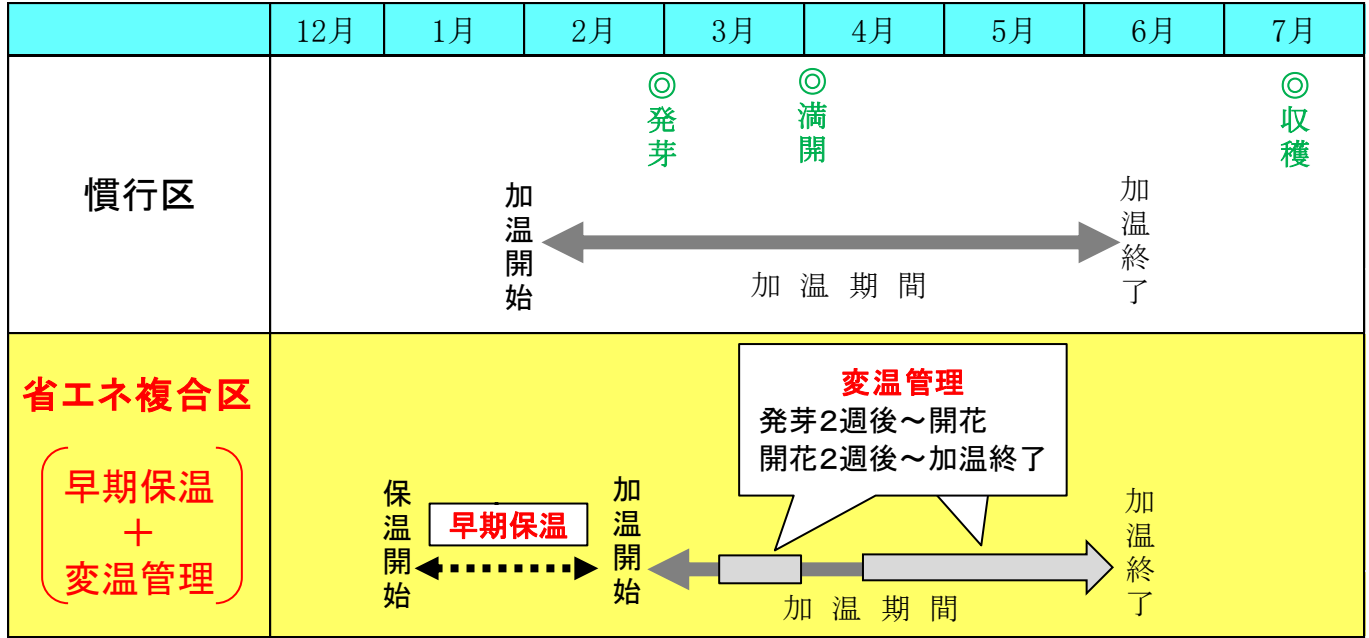


加温燃料が大幅に節減できる ブドウの省エネ複合技術

「マスカット」加温栽培の省エネ複合技術の実施例



開発のねらい

燃油価格の高騰は加温ぶどうの経営に大きく影響することから、農業研究所では「マスカット」の加温栽培で、早期保温によって燃料が節減できる技術を開発しましたが、さらに燃料を節減できる技術として、変温管理技術との省エネ複合技術を開発しました。

新技術の概要

- 「マスカット」の2月加温栽培では、全期間の夜温を下げると生育に悪影響が出ます。しかし、発芽後2週間と開花後2週間を除く期間では、その悪影響が小さいことが分かりました。
- この悪影響が小さい期間だけ、慣行の夜温20℃を時間を区切って16℃に下げる変温管理を行うことにより、生育、果実品質、収量が慣行と同等で、約20%の節油につながりました。
- 早期保温+変温管理の省エネ複合技術により、節油率は約45%に向上しました。
- 「ピオーネ」での省エネ複合技術の節油率も約45%でした。

活用場面

燃油高騰の影響で県内のブドウ加温栽培は減少していますが、本技術を導入することで「マスカット」や「ピオーネ」加温栽培の収益性が改善し、生産増ならびに経営改善に役立ちます。